

編集後記

中京大学図書館学紀要も、創刊して20年が経ちました。創刊号発刊以来、年刊発行を続けここにこの第20号を発刊できたことは、真に執筆者の方々と歴代館長および図書館員の方々のご協力とあわせて編集委員の努力の賜物と思っております。

中京大学図書館もこの20年の間に大きく成長しました。創刊当時1980年の図書館の状況は、蔵書数が和書約200,000冊、洋書約130,000冊、和雑誌約2,100種、洋雑誌約1,000種でした。現在では、和書が約550,000冊、洋書約350,000冊、雑誌は、和雑誌が約6,000種、洋雑誌は約3,000種になりました。中京大学も当時の4学部から8学部になり、すべての面において2倍になったこととなります。変化は図書館業務の面でも著しく、当時では思いもよらなかった資料の電子化が進められています。この所蔵資料のデータベース化も、2000年の末つまり20世紀中には、すべて終了する予定で遡及入力事業が推し進められています。当時のカード目録の作成や蔵書目録等の発行もすべて廃止し、電子情報による所蔵データの公開と図書館があらゆる情報の発信源になるよう努力しています。このような電子化の進む中、この紀要の発行形態も考えていかなければならない状況に置かれていると認識しています。今後の紀要の発行にご期待ください。

今回の記念号に中京大学「図書館学紀要」(No.11-20) 記事・著者総索引を載せました。創刊号から10号までの記事・著者総索引は10号に掲載してあります。紀要のコンテンツについては、図書館ホームページでも確認できるようにしていくつもりですので中京大学図書館ホームページも利用してください。ホームページアドレスは、<http://www.lib.chukyo-u.ac.jp/cul/culib.html>です。

図書館学紀要の原稿は随時受け付けていますので寄稿していただける方は、ぜひお願いいたします。

中京大学図書館学紀要原稿募集要項

内容：図書館、図書館情報学や書誌に関する論文、調査、報告、書評、意見、感想など。

枚数：論文は、400字詰め原稿用紙30枚程度、ワープロ原稿ならA4、15枚（1枚33字×28行）程度。

それ以外は原稿用紙20枚以内、ワープロ原稿なら8枚以内。（図表、写真も枚数に含む）ワープロ原稿は、フロッピーを添付。

締切：1999年12月11日(土)

その他：寄稿される方は事前に編集委員までお申してください。